

**令和7年度 大阪市立信太山青少年野外活動センター
管理運営業務事業報告書**

指定管理者の名称 一般財団法人 大阪市青少年活動協会

事務所の所在地 〒540-0006 大阪府中央区法円坂1-1-18

代表者の氏名 会 長 出 田 善 蔵

担当者の氏名 大阪市立信太山青少年野外活動センター所長 國 吉 啓 介
及び連絡先 (連絡先) 06-6942-0410

指定の期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

年度の区分 令和7年度(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

管理運営施設の概要

所在地 〒594-0023 大阪府和泉市伯太町3-12-86
TEL 0725-41-2921

敷地面積 165,341㎡

主な施設 青少年の家

- ・延床面積 2,709㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造 本館2階建(一部平屋) 宿泊棟2階建
- ・定員 24室 200名
- ・施設内容 宿泊室、研修室、食堂、浴室、体育館、事務室、厨房、便所、
野外炊事場、25mプール、キャンプファイア場等

キャンプ場

- ・定員 宿泊サイト 3サイト:190名
日帰サイト 2サイト(7棟):400名
- ・施設内容 テント設備、野外炊事場、事務室、便所、多目的広場等

1. 指定管理業務の実施状況

(1) 管理運営方針

次の7つを運営方針として、その目標達成に向けて全力で取り組みました。

- ① 利用者の安全確保を最優先に管理運営を行います。
- ② 「利用者第一」を基本に利用者の権利を守り、公平・平等な利用を確保し、公正で質の高いサービスを提供し、利用促進に努めます。
- ③ 個人情報厳正かつ適正に取扱い、社会的ルールを遵守するとともに、常に公平・公正な職務の執行を行い、コンプライアンスの徹底を図ります。
- ④ 人権尊重と接遇に配慮し、信頼と透明性のある管理運営を行います。
- ⑤ 地域の特性を有効に活用した市民協働による管理運営をめざします。
- ⑥ 教育・研修を通じて人材育成を図り、施設の教育力を高めます。
- ⑦ 環境に配慮した管理運営を行い、環境にやさしい施設をめざします。

(2) 業務目標に対する評価

前述の運営方針に基づき、業務目標と運営計画を定め、野外活動センターの設置目的と効用を最大限に発揮し管理運営に取り組みました。

① 安全で快適な利用の実現に向けた施設の管理

職員による巡回点検のみならず、清掃員の巡回時にも不具合個所の報告を義務付け、建物や諸設備の劣化・故障等による危険を未然に防止し、施設環境を良好かつ美しく保てるよう維持管理に取り組みました。

② 利用者支援・サービスの強化

青少年の家のWi-Fi拡張やキャンプ場パノラマサイト汲み取り式トイレの環境改善、申込書類のオンライン提出を可能にする等、設備や機器、サービスの充実を図りました。

③ 学校園活動プランの充実

クラスで協力して取り組む「みんなで火おこし」や「木登り体験」、信太山の間伐材・倒木を活かした「薪割りピザ作り」「流しそうめん体験」などの学校園を対象とした活動プランの魅力・効果について積極的にプロモーションを図り、延べ158校の学校園が活動プランを利用しました。(令和6年度は延べ125校)

(3) 職員の配置状況

職員のマルチスタッフ化による効率的な運営と共に、施設の繁忙時や自主事業については、協会全体で人的支援体制を整備し、フレキシブルな人員配置を行い臨機応変に対応しました。

① 総括責任者(所長)

施設の経営能力を備え、施設の管理運営の実績があり、管理職として責任ある業務を遂

行できる職員を配置しました。

② 管理事務及びプログラム指導業務担当者

施設の管理運営及びプログラム指導に関する知識・技術を備えているとともに、利用受付、清掃、プール管理など利用者の活動を快適なものにする業務や利用相談に対応できる職員を配置しました。

③ ボランティアスタッフ

- ・利用者対応や環境整備をともに行うキャンプスタッフを養成しました。
- ・里山保全活動ボランティアの育成に取り組みました。

④ 資格等を有する業務担当者の配置

- ・甲種防火対象物の防火管理者を配置しました。
- ・プール衛生管理者、ならびにプール施設管理士を配置しました。
- ・食品衛生責任者を配置しました。
- ・安全衛生推進者を配置しました。

⑤ 他に職員の有する資格

キャンプディレクター（１級）、NEAL コーディネーター、応急手当普及員、レクリエーションコーディネーター、小学校長期自然体験活動全体指導者 等

（４）施設・設備の維持管理に関すること

施設及び附属設備の維持管理業務を利用者の安全を確保する上でもっとも大切な業務と位置づけ、常に良好な状態を保つことで故障等による危険性の低減を図り、事故の未然防止を通じて利用者の安全と安心を確保しました。また、日常業務を通じて施設のポテンシャルを常に高いレベルで維持・発揮できるよう、協会が有する青少年施設の維持管理のノウハウを十分に適用した環境整備を行い、利用者にとって快適かつ満足できる利用環境の提供に努めました。

- ① すべての利用者が安全で安心して、かつ快適にご利用いただけるよう施設管理を確保し、衛生環境を良好に保つことに努めました。
- ② 業務に係る関連法規・通知・要領等コンプライアンスを遵守し、仕様書の定め通り、業務を適正に行いました。
- ③ 公共施設は大切な共有財産であることを念頭に、建物をはじめ諸設備の長寿命化を図るべく、予防保全対応を基調に、施設の維持管理に取り組みました。
- ④ P D C A マネジメントシステムを用いて取り組み結果を見直すことにより、継続的な改善を可能な限り行いました。
- ⑤ 維持管理及び保守保全に係るコストの縮減と効率化を図るとともに、環境負荷に配慮した業務を行いました。

ア) 施設設備の管理業務

- ・污水处理設備保守点検

「(株)西原ネオ 大阪支店」による保守点検

(4月1・8・26日、5月9・16・27日、6月7・17・24日、7月4・15・30日、8月9・20・29日
9月9・19・30日、10月7・21・29日、11月6・19・27日、12月9・17・25日、1月7・20・27
日、2月10・18・26、3月10・19・25日)

- ・電気設備定期点検

「(一財)関西電気保安協会」による定期点検

(4月3日、6月3日、8月7日、10月7日、12月9日、2月3日)

- ・消防設備点検

「サンコー設備(株)」による点検 (7月1日:機器点検、1月21日:総合点検)

- ・昇降機定期点検

「ダイコー(株)」による定期点検

(4月15日、5月16日、6月11日、7月1日、9月3日、10月2日、11月6日、1月7日、
3月3日、)

- ・空調設備保守点検

「テクノ矢崎(株)西部支店」による点検 (4月25日、10月28日)

- ・温水ヒーター保守点検

「(株)ヒラカワ」による点検 (7月8日、2月27日)

- ・浄化槽法定検査

「大阪府環境水質指導協会」による検査 (1月21日)

- ・浴室濾過設備点検

「ローレル(株)」による点検 (9月26日、3月26日)

- ・浴槽水質検査

「(株)HER」による検査 (7月24日)

- ・プール水質検査

「(株)HER」による検査 (7月24日、8月4日)

- ・ボイラー室貯湯槽清掃点検

「日本水処理工業(株)」による点検 (9月9日)

- ・用地管理

職員・用地管理スタッフ・パートタイマー等による管理 (通年)

- ・防火設備定期検査

「東京海上日動ファシリティーズ(株)」による法定点検 (3月25日)

- ・建築設備定期点検

「東京海上日動ファシリティーズ(株)」による法定点検 (3月25日)

- ・プールろ過装置点検

「光伸株式会社」による点検 (7月16日、9月4日)

- ・警備業務

「(株) 関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ」(通年)

イ) 清掃業務

- ・日常の清掃業務

職員、ボランティアスタッフ、(公社)和泉市シルバー人材センター

・その他の清掃業務

「(一財)大阪防疫協会」による衛生害虫駆除 (6月17日)

「(一財)大阪防疫協会」による殺菌消毒 (6月17日)

「(株)泉宏産業」によるプール清掃 (7月10日)

「貯湯槽清掃」(9月9日)

「(株)泉宏産業」による青少年の家研修室・事務室の床面洗浄とワックス塗布
(3月5日)

ウ) 修繕・補修業務

・樹木伐採(青少年の家・キャンプ場・多目的広場)

・浴室補給水弁修理(青少年の家)

・乗用草刈り機 修理(青少年の家)

・プールろ過装置修理(青少年の家)

・シャワー室給湯器修理(キャンプ場)

・膨張タンク 改修(青少年の家)

・多目的広場 整地(多目的広場)

・パノラマサイトトイレ水洗化(キャンプ場)

・管理棟トイレ水洗化(キャンプ場)

・水道漏水修理(キャンプ場)

・食器倉庫屋根修理(青少年の家)

・廊下照明 LED改修(青少年の家)

・非常口扉修理(青少年の家)

・浴室扉修理(青少年の家)

・オークサイト蛍光灯LED化(キャンプ場)

・グリーンヒルサイトかまど修理(キャンプ場)

エ) 備品管理業務

・洗濯機の改修(青少年の家)

・パソコンの改修(青少年の家)

・勤怠タイムレコーダーの購入(青少年の家・キャンプ場)

オ) 警備業務

職員による日々施設内の巡回ならびに、休館日及び業務時間外は機械警備を実施し、事故防止や防犯に努めました。

カ) 防火管理業務

消防・防災訓練等を実施するなど、防火管理に努めました。

キ) 利用者の安全確保及び防災ならびに事故発生等の緊急時対応業務

危機管理マニュアルや緊急連絡手順など様々な緊急事態を想定した危機管理体制を整備し、必要な措置を講じました。

ク) 関係機関との連携

大阪市、消防署、保健所、警察署への各種申請及び届出や報告を適切に行うとともに、必要に応じて問合せや相談を行いました。

2. 利用状況

(1) 開設期間

① 開設期間

・令和7年4月1日～令和8年3月31日

② 休館日

・夏休み期間と春休み期間を除く月曜日
・12月30日～ 1月7日（年末年始）

(2) 開館日数、宿泊可能日数

① 開館日数 315日（青少年の家） 315日（キャンプ場）

② 宿泊可能日数 278日（青少年の家） 266日（キャンプ場）

③ 部屋・サイト定数、利用定員

	青少年の家	キャンプ場 (宿泊)	キャンプ場 (日帰り)
種別	4棟	3エリア	2エリア
部屋・サイト数	24室	3サイト	2サイト(7棟)
利用定員	200名	190名	440名

(3) 施設別年間利用者統計

エリア	区分	小 計	エリア合計	合 計
青少年の家（宿泊）	宿泊利用者数	18,315	40,213	74,856
	日中利用者数	21,898		
キャンプ場(宿泊)	宿泊利用者数	2,415	5,876	
	日中利用者数	3,461		
キャンプ場(日帰り)	日中利用者数	28,767	28,767	

(4) 月別開館稼働率・施設稼働率・宿泊稼働率・日中稼働率（別紙1）

3. 施設運営及び実施事業、自主事業に関する報告

(1) 施設運営

センターの使命をふまえた運営方針に基づき、以下の通り管理運営を行いました。

① 受付業務

予約・相談・申込・変更・キャンセル等の受付業務を行いました。なお、大阪市民の方が手続き等を簡便に行えるよう、大阪市内の活動協会事務局でも相談・受付業務を行いました。予約受付は、次のとおり行いました。

ア) 大阪市内の学校園による予約を優先しました。

- ・令和8年度分 学校園団体日程調整会 「大阪市教育会館」

4月21日・・・61学校園参加

イ) 希望がとくに多い時期（夏季など）とその他の時期については、適切な区分等を設けて日程調整会を開催し、公平な利用と施設の有効利用に努めました。

- ・令和8年度分 大阪市内団体（夏季期間を除く）日程調整会「大阪市教育会館」

9月 8日・・・24団体参加

- ・令和8年度分 大阪市内団体夏季利用 日程調整会 「大阪市教育会館」

9月 8日・・・55団体参加

ウ) 施設の休館日中の問合せについては、大阪市内の活動協会事務局で対応しました。

エ) 予約キャンセルの頻発やダブルブッキング等のトラブルが生じないように、施設と活動協会事務局とで密接な連携を図りました。

オ) 休館日の開館依頼があれば休館日変更を申請し、利用者を受け入れました。

- ・開館申請件数・・・2件

② 施設利用の促進、広報

施設のPRや情報提供のために、次のとおりに、必要な媒体の作成、配布等を行いました。

また、大阪市をはじめとする近隣市町村等と連携し各種情報の収集や提供を実施しました。

ア) ホームページ・SNS（ブログ・Facebook・Instagram）の更新

イ) 大阪市の行政施策に関する各種広報物の掲示 及び 配布

ウ) 大阪市各区の区報に、施設紹介の記事の掲載依頼

エ) 大阪市立小学校校長会および、中学校幹事校長会にて、活動プランのチラシ配布と、プレゼンテーションを実施

オ) 和泉市役所 管内（市長公室 広報・協働推進室・いずみアピール課、環境産業部・産業振興室 商工観光担当、和泉市教育委員会事務局 生涯学習部・生涯学習推進室、環境産業部・環境保全課）との連携・協力

カ) j:COM チャンネルにおける、和泉市広報番組の取材・収録協力

キ) 和泉市、堺市、泉大津市、泉佐野市、岸和田市、泉南市等の公共施設や商業店舗等（アウトドア関連取扱ショップ）へ施設案内リーフレットやチラシの配布

ク) 近隣公共施設（大阪府立弥生文化博物館、泉大津市立池上弥生学習館、信太の森ふるさと館、和泉市立青少年センター等）に施設案内リーフレットやチラシの配布

ケ)「泉大津ふれあいまつり」にて、クラフト体験のブース出展

コ)「信太山オープンデー」の開催にあたり、広報協力を依頼

(近隣自治会・和泉市公式ホームページ・イベント出演団体・出店協力団体等)

③ 施設等利用の案内及び利用者支援

ア) 下見等の応接・案内、高齢者・障がい者等の補助を行いました。また、来館者・利用者に対し、施設利用に関する案内及び支援を行いました。

イ) 学校園団体・夏季期間に利用する団体向けに、下見説明会を開催しました。

・学校園下見説明会

4月 2日・・・ 10団体参加

4月 3日・・・ 12団体参加

4月 4日・・・ 20団体参加

7月22日・・・ 14団体参加

7月23日・・・ 17団体参加

・夏季利用団体下見説明会

6月 8日・・・ 24団体参加

ウ) 夜間対応

宿泊利用者がある場合には、職員を含めたスタッフを2名以上配置しました。

エ) 急病・けが人等への対応

利用者等の急病、けが等に対応できるよう、近隣の医療機関等と連携し、緊急時には的確な対応を行いました。施設内で起こったけが等については、速やかに応急救置を行いました。

オ) 効率的な人員配置

繁忙時や自主事業については、協会全体で人的支援体制を整備し、効率的な人員配置を心がけて臨機応変に対応しました。

カ) 遺失物・拾得物の処置・保管業務

法令等に従い、適切に行いました。

④ 提供プログラム

さまざまな目的を持った団体が有意義に活動できるよう、多くの活動プログラムを用意し、備品・用具の貸し出し、材料の提供を行いました。また、野外活動経験の少ない方でも安全で楽しくプログラムが展開できるよう、ねらいや手順、所要時間、安全上の注意等を記載したプログラムシートの提供を行いました。

ア) くずのはハイキング

(星の子コース・信太の森コース・信太の森ロングコース・こぎつねコース)

イ) フィールドサーチ

ウ) ネイチャービンゴ

エ) キャンプファイア、キャンドルファイア

オ) フライングディスクゴルフ

- カ) グラウンドゴルフ
- キ) 室内オリンピック (物品貸し出し)
- ク) フィールドアスレチック
- ケ) 杉焼き板工作、動物焼き板工作
- コ) マイ箸作り
- サ) まが玉作り
- シ) ウッドペンダント作り
- ス) キューブカレンダー作り
- セ) ひのきのうちわ作り
- ソ) お餅つき (物品貸し出し)

(2) 実施事業

センターの使命をふまえた運営方針に基づき、以下の通り事業を実施しました。

① ボランティアスタッフ、野外活動指導者等の人材育成

ア) ボランティアスタッフの養成・研修を行いました。

- ・登録者数 17名

イ) 野外活動指導者の養成・研修 (リーダースクール) を行いました。

- ・ 4月 6日① 54名参加
- ・ 4月 6日② 54名参加
- ・ 4月13日① 25名参加
- ・ 4月13日② 29名参加
- ・ 5月17日 23名参加
- ・ 5月18日 10名参加
- ・ 6月 8日 48名参加
- ・ 6月15日 50名参加
- ・ 7月 6日 43名参加
- ・ 7月11日 124名参加
- ・ 9月 6日 44名参加
- ・ 9月27日～28日 54名参加
- ・ 11月29日～30日 27名参加
- ・ 2月16日～17日 92名参加
- ・ 3月 7日～ 8日 50名参加
- ・ 3月19日 78名参加

ウ) 野外活動指導者を対象とした人材バンク業務 (リーダーバンク) を行い、継続的な研修を行いました。

- ・ 8月 6日 30名参加
- ・ 12月12日 29名参加

- ・ 2月26日 39名参加

エ) 専門的な野外スキルを身につけるための研修（キャンプアカデミー）を行いました。

- ・ 5月24日～25日 63名参加
- ・ 6月21日～22日 95名参加

② 野外活動及び自然体験活動事業

信太山の豊かな自然環境や、特徴的な歴史にふれる機会を提供する事業を実施しました。

ア) 森のようちえん

- ・ 11月 9日 17名参加
- ・ 12月14日 24名参加
- ・ 1月25日 26名参加
- ・ 2月15日 34名参加

イ) 里山ボランティア

- ・ 4月～3月まで、隔月1回開催 . . . 登録2名

ウ) どんぐりの植樹体験

- ・ 2月27日 34名参加
- ・ 3月 4日 87名参加

③ 家族交流事業

家族を対象に、自然の中でさまざまな体験をととして絆を深める事業を実施しました。

ア) 家族でお手軽キャンプ

- ・ 11月1日～2日 . . . 7家族21名参加

イ) ファミリーデイキャンプ

- ・ 3月 1日 12名参加

ウ) たき火で遊ぼう

- ・ 2月8日～2月22日までの日曜日開催 . . . 22名参加

・ 生涯学習及び交流事業

生涯学習や市民が交流し学び合う事業を計画しました。

ア) クラフト体験

- ・ 12月27日 13名参加

イ) 信太山オープンデー

- ・ 2月 1日 627名参加

④ 施設内食堂での食事の提供

ア) 給食・野外炊事材料の提供を行いました（計 59,463 食、お茶を含む）。

イ) 利用者のニーズに対応したメニューの開発や提供を行いました。

⑤ 大阪市が実施する事業へ協力・参画しました。

ア) 大阪市青少年指導員全体研修会に協力しました。

- ・ 7月12日～13日

⑥ 他施設・地域との連携により、利用促進および、施設の有効利用に取り組みました。

- ・ 4月16日 ……和泉市環境保全課廃棄ング 実施協力
- ・ 5月27日 ……和泉市青少年センター 事業者選定委員として出席
- ・ 8月23日 ……山荘第一町会における盆踊り会場としてオークサイトを提供
- ・ 8～9月 ……和泉市保健所 蚊媒介感染症のトラップ調査及び回収
- ・ 9月 1日 ……指定管理施設職員合同研修
- ・ 11月 6日 ……信太中学校 職場体験学習の受け入れ
- ・ 2月 1日 ……主催事業信太山オープンデー出展依頼
るり溪少年自然の家、信太の森ふるさと館、和泉市、
自衛隊大阪地方協力本部
- ・ 3月20日 ……泉大津市立弥生学習館「ふれあい祭り」にて
森のカトラリー作りプログラム提供

(3) 自主事業

市民や利用者とのコミュニケーションや利用者満足度調査を通じて、利用者の意見や要望を積極的に収集し、利用者満足度を把握したうえで、新しいニーズに応えた利用者サービスの向上、施設利用の魅力アップにつなげ、大阪市の青少年健全育成施設としての価値を高めてきました。

① プログラム物品販売

薪(太薪・細薪)、クラフト材料(焼板・まが玉、塗り箸等)、木炭、ローソク等、利用者のニーズや施設の特徴を活かした物品の提供を行いました。

② 利用促進事業

ア) 関西シクロクロス(オフロード自転車競技大会)

- ・ 12月22日 …… 1,732名参加

イ) 信太山ニューイヤークップ(少年少女サッカー大会)

- ・ 1月17日～18日 …… 174名参加

ウ) 信太山ウインターカップ(少年少女サッカー大会)

- ・ 2月7日～ 8日 …… 261名参加

エ) 女性のためのソロキャンプ体験会

- ・ 11月15日～11月16日 …… 6名参加

オ) たき火ウィークエンド

- ・ 11月 1日～12月13日までの土曜日開催・・・ 94名参加

カ) 新設日帰りサイト (BBQ village) の運営

- ・ 年間利用者数 1,475名、110グループ

キ) BBQ village イベント

- ・ 11月30日・・・ 8名
- ・ 1月18日・・・ 9名
- ・ 3月29日・・・ 5名

ケ) 学校園オリジナルプランの提供

- ・ みんなで火おこし体験・・・・・・・・・・・・ 81件
- ・ 薪づくり&ドラム缶釜でピザづくり体験・・・・ 49件
- ・ クラスビルディング・・・・・・・・・・・・ 8件
- ・ 流しそうめん・・・・・・・・・・・・ 18件

4. その他

(1) 利用者サービスの向上

利用者サービスの向上について、以下の通り行いました (抜粋)。

- ① BBQ village で自然素材を使ったクラフトワークショップや木登り体験等のイベントを実施しました。
- ② 青少年の家のWi-Fiを拡張し、客室でも利用できるようになりました。
- ③ 熱中症対策として、野外炊飯場付近にミストシャワーを設置しました。
- ④ 施設利用申込書をオンラインでも提出できるようにしました。
- ⑤ キャンプ場パノラマサイトのトイレを水洗化しました。
- ⑥ ダンス等で利用できるよう、練習用ミラーを体育館に設置しました。

(2) 経費縮減に係る取組状況

経費縮減に係る取組について、以下の通り行いました。

① 効率的な人員配置

- ア) 職員のマルチスタッフ化を進め、業務の効率化を図りました。
- イ) 職員の配置については、変形労働時間制を導入することで繁忙期と閑散期の勤務時間調整し、効率的な人員配置を行い、経費縮減に努めました。
- ウ) 予約状況や利用実態に柔軟に対応したシフト勤務を行うことにより職員の適正な配置を実施することで経費の縮減を図りました。

② 効果的・効率的な維持管理

- ア) 各種設備の維持点検や保全業務に係る再委託業務については、『維持管理計画』に基

づき、業務水準やコストを見直し、入札あるいは複数の事業者から見積あわせを実施することで、適正な業務水準を確保するとともに、最も安価な事業者を選定しました。

- イ) LCM（ライフサイクルマネジメント）とPDCAマネジメントシステムにより、コストの削減を図り、効果的・効率的な施設運営を実現しました。
- ウ) 消耗品や事務用品は、物品リストによって一元管理し、購入については、物品購入伺（3万円未満）や支出決議（3万円以上）をもって管理を徹底することで無駄を省きました。さらに、私たちのスケールメリットを活かして、プログラム物品や消耗品等の仕入れを共通化することでコストを削減しました。
- エ) 利用のてびき・利用促進チラシ等は、内部で作成することによってコストの削減を図りました。

③ 省エネルギー・省資源

- ア) 電気、水道、燃料等のエネルギー関係については、年間を通して定量的に監視し、過年度や利用状況を踏まえた分析を行うことで使用量の適正化を図り、コストの削減に努めました。
- イ) 空調機の設定温度は、夏季は28℃、冬季は20℃を基本とするとともに、作動時期・時間も利用実態に対応しました。また、空調機フィルターの清掃、室外機の洗浄等を定期的に行うことで、省エネルギー・省資源化を図りました。
- ウ) 館内の照明は利用実態に合わせて、こまめに消灯するとともに、利用者にも環境保全への取り組みを説明し、理解と協力を得ました。
- エ) ゴミの分別化・減量化を進め、リサイクルの促進や廃棄物処理費用の削減を図りました。

④ その他

- ア) ペーパーレス化（利用案内、手続き書類のデジタル化や裏紙の活用等）を推進しました。
- イ) プログラム指導業務のマニュアル化による業務効率の向上を図りました。
- ウ) 小修繕や案内表示の作成、日常及び定期清掃（一部）は、職員により実施しました。

（3）利用者からの要望・苦情等への対応取組状況

利用者からの要望・苦情等への対応について、以下の通り行いました。

① 利用者アンケートの実施

利用者満足度や要望・苦情等、利用者の意見を把握するために紙面によるアンケートを実施し、内容については月報にて大阪市に報告するとともに、必要に応じて大阪市との連絡調整会議の議題にあげました。

② 意見箱の設置

多様なご意見をお伺いするために、館内に自由記述形式の意見箱も設置し、寄せられた内容及び対応は、施設内の掲示板に掲出し、公表しました。

③ 要望・苦情対応

要望・苦情等については、協会が別に定める「要望・苦情対応要綱」に則り、迅速かつ適正に管理運営に反映させ、利用者満足度の向上に努めました。要望・苦情の事案によっては、大阪市との協議の上で対応しました。

・今年度の対応

ア) ディスクゴルフのゴールが国旗の掲揚柱にかかっており、投げるのに抵抗がある。

→ゴールを移設しました。

イ) 廊下の小さな段差が気になる。

→スロープシートを設置しました。

ウ) パノラマサイトのトイレを水洗トイレにしてほしい。

→簡易水洗便器を設置しました。

（４）利用者アンケートの実施状況

多様な利用者の満足度を的確に把握するため、センター利用者へアンケートを実施し、利用者サービスの向上や運営の改善につなげました。

① アンケート回収対象団体数・・・ 849 件・回収数 439 件・回収率 52%

② スタッフ対応満足度・・・ 満足 9 4 % 普通 6 % 不満 0 %

③ 施設利用満足度・・・ 満足 8 5 % 普通 1 4 % 不満 1 %

④ その他 感想、ご意見など

ア) チームビルディングが大変楽しくて、生徒にとって有意義な活動となりました。

イ) 火おこし体験や薪割り、仲間づくり、自然体験がセットになっているところが、とても魅力的でした。

ウ) 焼き板クラフトは、初めてのプログラムでしたが、楽しく活動でき思い出の品を持って帰ることもできて良かったです。

エ) 予算に合わせてプログラム内容の相談にもものっていただけたのが有難かったです。

（５）職員研修実績

センターの設置目的に沿い、より効果的・効率的な管理運営と良質なサービスを市民に提供するため、職員に対する研修を以下の通り行いました。

日程	研修内容	主催	受講人数
6/17	消防訓練	内部	8 名
6/27	応急手当普及員更新講習	大阪消防振興協会	1 名
7/7	人権研修	内部	1 名
8/8	プログラム指導研修	内部	7 名
8/26	プログラム指導研修	内部	7 名

9/1	協会運営施設職員全体研修	内部	8名
9/11	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	建設不動産総合研修センター	1名
10/12	人権啓発基礎講座	大阪市人権推進協議会	1名
12/4	会計担当者研修	内部	2名
1/9	消防訓練	内部	8名
1/21	勤怠担当者研修	内部	1名
1/22	人権研修	内部	8名
2/3	人権研修	内部	1名

(6) 個人情報保護の取組状況

個人情報保護法及び大阪市個人情報保護条例に準拠し、適正な取扱いに細心の注意をもって取り扱いました。

① 個人情報の取扱い

取得した個人情報の適正な取扱いに関しては、当協会のプライバシーポリシー、個人情報保護規程、個人情報保護規程細則、個人情報取扱運用細則及び電子計算機処理システム運用規程に則り、個人の基本的な人権を擁護するとともに適正かつ円滑な運用を行いました。

② 個人情報保護に関する体制

個人情報取扱責任者及び情報システム監督者を設置し、適正な保護・運用を行いました。また、個人情報取扱事務目録を作成し、求めに応じて閲覧に供せられるよう設置しています。

③ 個人情報保護に関する研修

職員・スタッフには個人情報保護の重要性の認識、及び適正な取扱いの周知徹底・実行についての教育を行いました。

ア) 個人情報保護基礎研修(新人研修)

イ) 個人情報保護実践教育

ウ) 個人情報取扱い前教育

5. 収支の状況

1. 令和7年度 管理に要した経費等の収支の状況

(1) 収入の部

(単位：円)

	項目	科目	科目金額	項目金額	合計
収入	業務代行料		75,093,847		
	小計			75,093,847	
	利用料収入		25,903,830		
	小計			25,903,830	
	その他収入	給食提供 体験事業等 厨房光熱水費	41,072,965 853,500 1,255,591		
	小計			43,182,056	
収入合計					144,179,733

(2) 支出の部

	項目	科目	科目金額	項目金額	合計
支出	人件費		60,999,783		
	小計			60,999,783	
	事務費	旅費交通費	185,527		
		通信運搬費	1,726,874		
		消耗品費	3,178,960		
	小計			5,091,361	
	施設管理費	設備維持費	7,387,724		
		什器備品費	1,305,033		
		燃料費	183,727		
		洗濯費	2,946,458		
		修繕費	5,789,246		
		保険料	824,682		
		給食業務委託料	5,280,000		
		衛生費	1,905,750		
	小計			25,622,620	
光熱水費	電気・ガス・水道	10,673,276			
小計			10,673,276		
その他	給食提供	34,189,081			
	体験事業等	938,380			
	利用促進	403,405			
小計			35,530,866		
支出合計①					137,917,906
租税公課	消費税	5,981,086			
小計			5,981,086		
支出合計②					5,981,086
支出総合計 ① + ②					143,898,992

(3) 収支差額

収支差額	280,741
------	---------

2. 令和7年度 自主事業に要した経費等の収支の状況

(1) 収入の部

(単位：円)

	項目	科目	科目金額	項目金額	合計
収入	プログラム物品提供		12,045,550		
	小計			12,045,550	
	生涯学習及び交流事業		1,801,230		
	小計			1,801,230	
	自販機飲料提供		436,333		
	小計			436,333	
収入合計					14,283,113

(2) 支出の部

	項目	科目	科目金額	項目金額	合計
支出	プログラム物品提供		7,208,520		
	小計			7,208,520	
	生涯学習及び交流事業		2,500,215		
	小計			2,500,215	
	支出合計①				9,708,735
	環境整備		3,301,212		
	広報		521,622		
	運営費に充当				
	小計			3,822,834	
支出合計②				3,822,834	
支出総合計 ① + ②				13,531,569	

(3) 収支差額

収支差額	751,544
------	---------

3. 経費等の収支の状況（収支差額総括）

(単位：円)

管理に要した経費等の収支差額	280,741
自主事業に要した経費等の収支差額	751,544
管理・自主事業に要した経費等の収支差額	1,032,285

令和7年度 信太山青少年野外活動センター 月別開館稼働率・施設稼働率・宿泊稼働率・日中稼働率

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計(累計)比		
															前年度数値	%	
信太山 青少年の家	開館日数		27	27	25	29	31	25	27	26	24	23	24	27	315	313	100.6%
	宿泊可能日数		24	24	20	27	30	21	23	22	20	20	20	27	278	258	107.8%
	開館利用率	利用日数	26	24	23	29	30	21	27	26	21	14	14	24	279	256	109.0%
		開館利用率	96.30	88.89	92.00	100.00	96.77	84.00	100.00	100.00	87.50	60.87	58.33	88.89	88.57	81.79	108.3%
	施設稼働率	利用部屋数	539	522	472	627	636	392	516	441	266	240	246	352	5,249	4,881	107.5%
		部屋定数 (24)	576	552	480	648	744	504	552	504	480	480	480	552	6,552	6,480	101.1%
		施設稼働率	93.58	94.57	98.33	96.76	85.48	77.78	93.48	87.50	55.42	50.00	51.25	63.77	80.11	75.32	106.4%
	宿泊利用率	宿泊者数	2,171	1,641	1,764	2,586	2,623	1,222	1,916	1,577	602	596	431	1,186	18,315	17,207	106.4%
		宿泊定員 (200)	4,800	4,600	4,000	5,400	6,000	4,000	4,600	4,400	4,000	4,000	4,000	5,400	55,600	51,600	107.8%
		宿泊利用率	45.23	35.67	44.10	47.89	43.72	30.55	41.65	35.84	15.05	14.90	10.78	21.96	32.94	33.35	98.8%
	日中利用率	日中利用者数	2,400	2,110	2,100	2,593	3,050	1,335	1,964	2,021	863	776	1,311	1,375	21,898	20,412	107.3%
		日中定員 (200)	5,400	5,400	5,000	5,800	6,200	5,000	5,400	5,200	4,800	4,600	4,800	5,400	63,000	62,600	100.6%
日中利用率		44.44	39.07	42.00	44.71	49.19	26.70	36.37	38.87	17.98	16.87	27.31	25.46	34.76	32.61	106.6%	
信太山 キャンプ場 (宿泊)	開館日数		27	27	25	29	31	25	27	26	24	23	24	27	315	313	100.6%
	宿泊可能日数		24	23	20	27	30	10	23	22	20	20	20	27	266	258	103.1%
	開館利用率	利用日数	18	10	8	17	8	10	14	12	5	9	11	10	132	141	93.6%
		開館利用率	66.67	37.04	32.00	58.62	25.81	40.00	51.85	46.15	20.83	39.13	45.83	37.04	41.90	45.05	93.0%
	施設稼働率	利用サイト数	39	22	16	25	6	12	19	18	15	12	10	18	212	276	76.8%
		サイト定数 (3)	72	69	60	81	93	63	69	63	60	60	60	69	819	930	88.1%
		施設稼働率	54.17	31.88	26.67	30.86	6.45	19.05	27.54	28.57	25.00	20.00	16.67	26.09	25.89	29.68	87.2%
	宿泊利用率	宿泊者数	936	268	100	286	46	143	194	126	32	72	41	171	2,415	3,347	72.2%
		宿泊定員 (190)	4,560	4,370	3,800	5,130	5,700	3,800	4,370	4,180	3,800	3,800	3,800	5,130	50,540	49,020	103.1%
		宿泊利用率	20.53	6.13	2.63	5.58	0.81	3.76	4.44	3.01	0.84	1.89	1.08	3.33	4.78	6.83	70.0%
	日中利用率	日中利用者数	1,380	360	151	409	49	220	290	138	36	107	57	264	3,461	5,607	61.7%
		日中定員 (190)	5,130	5,130	4,750	5,510	5,890	4,750	5,130	4,940	4,560	4,370	4,560	5,130	59,850	59,470	100.6%
日中利用率		26.90	7.02	3.18	7.42	0.83	4.63	5.65	2.79	0.79	2.45	1.25	5.15	5.78	9.43	61.3%	
信太山 キャンプ場 (日帰り)	開館日数		27	27	25	29	31	25	27	26	24	23	24	27	315	313	100.6%
	開館利用率	利用日数	19	23	22	24	18	16	24	24	9	5	7	18	209	218	95.9%
		開館利用率	70.37	85.19	88.00	82.76	58.06	64.00	88.89	92.31	37.50	21.74	29.17	66.67	66.35	69.65	95.3%
	施設稼働率	利用サイト数	76	109	83	25	38	37	79	88	26	6	13	44	624	700	89.1%
		サイト定数 (7)	189	189	175	81	217	175	189	182	168	161	168	189	2,205	2,191	100.6%
	施設稼働率	40.21	57.67	47.43	30.86	17.51	21.14	41.80	48.35	15.48	3.73	7.74	23.28	28.30	31.95	88.6%	
	日中利用率	日中利用者数	4,140	4,757	2,692	2,224	1,416	1,613	3,083	3,354	2,270	699	706	1,813	28,767	27,838	103.3%
		日中利用定員	10,800	10,800	10,000	11,600	12,400	10,000	10,800	10,400	9,600	9,200	9,600	10,800	126,000	125,200	100.6%
日中利用率		38.33	44.05	26.92	19.17	11.42	16.13	28.55	32.25	23.65	7.60	7.35	16.79	22.83	22.23	102.7%	

- 注1. 開館稼働率は、該当月の合計利用日数を、該当月の開館日数で除したものである。
- 注2. 施設稼働率は、該当月の利用した部屋又はサイトの合計数を、部屋数又はサイト数に該当月の開館日数又は宿泊日数を乗じた数で除したものである。
- 注3. 宿泊利用率は、該当月の宿泊利用者数を、宿泊利用定員に該当月の宿泊可能日数を乗じた数で除したものである。
- 注4. 日中利用率は、該当月の日中利用者数を、日中利用定員に該当月の開館日数を乗じた数で除したものである。